



## 事業に伴う環境影響の全体像 (2018年度)

	採掘	原油調達・輸入	国内製造	国内輸送	国内販売	消費						
<b>出光興産 実績</b> 2018年4月～2019年3月 (12カ月)												
Input	エネルギー使用量 原油換算	30PJ 780千kL	エネルギー使用量 原油換算	13PJ 336千kL	エネルギー使用量 原油換算	139PJ 3,584千kL 海水 1,288,375千t 用水 60,130千t	エネルギー使用量 原油換算	3.6PJ 92.5千kL	エネルギー使用量 原油換算	0.7PJ 18.7千kL	揮発油 7,691千kL ジェット燃料 1,973千kL 灯油 2,280千kL 軽油 6,041千kL A重油 2,099千kL C重油 2,143千kL LPG (プロパン) 2,577千t LPG (ブタン) 641千t 石炭 6,868千t 潤滑油 601千kL 基礎化学品 3,493千t 機能化学品 50千t	
	CO <sub>2</sub> -Scope1 CO <sub>2</sub> -Scope2 CO <sub>2</sub> -Scope3 CO <sub>2</sub> 合計 (Scope1～3)	285千t 73千t 1,410千t 1,769千t	CO <sub>2</sub> -Scope1 CO <sub>2</sub> -Scope2 CO <sub>2</sub> -Scope3 CO <sub>2</sub> 合計 (Scope1～3)	190千t 0千t 740千t 931千t	CO <sub>2</sub> -Scope1 CO <sub>2</sub> -Scope2 CO <sub>2</sub> -Scope3 CO <sub>2</sub> 合計 (Scope1～3)	6,862千t 363千t -千t 7,225千t	CO <sub>2</sub> -Scope1 CO <sub>2</sub> -Scope2 CO <sub>2</sub> -Scope3 CO <sub>2</sub> 合計 (Scope1～3)	0千t 0千t 253千t 253千t	CO <sub>2</sub> -Scope1 CO <sub>2</sub> -Scope2 CO <sub>2</sub> -Scope3 CO <sub>2</sub> 合計 (Scope1～3)	10千t 24千t 0千t 34千t	CO <sub>2</sub> -Scope1 CO <sub>2</sub> -Scope2 CO <sub>2</sub> -Scope3 CO <sub>2</sub> 合計 (Scope1～3)	0千t 0千t 79,318千t 79,318千t
Output	SOx NOx	20,450t 5,959t	SOx NOx	17,711t 26,156t	SOx NOx ばいじん 排水量 COD 全窒素 全リン 廃棄物発生量* 廃棄物最終処分量** エネルギー消費原単位* 8.87L/kL (製油所)、0.396kL/t (石油化学工場) *対象は製油所・石油化学工場のみ	6,066t 6,640t 231t 1,345,984千t 97t 104t 1.5t 209,828t 1,383t	SOx NOx 排水量	3,122t 3,274t 6.0千t		SOx	91,223t	
	原油 石炭	Idemitsu Petroleum Norge AS ENSHAM COAL SALES PTY. LTD. MUSWELLBROOK COAL COMPANY LTD. BOGGABRI COAL OPERATIONS PTY LTD. TARRAWONGA COAL SALES PTY LTD PT MITRABARA ADIPERDANA Tbk	出光タンカー (株) アストモスエネルギー (株)	製油所 北海道製油所 千葉事業所 徳山事業所 愛知製油所 その他製造 BASF 出光 (株) 御前崎製造所 京浜ルプセンター 門司ルプセンター 出光ユニテック (株) (株) エス・ディー・エス バイオテック ユニオン石油工業 (株)	石油化学工場 千葉事業所 徳山事業所 出光クレイバレー (株) (株) プライムポリマー 姉崎工場	油槽所 (釧路・函館・八戸・秋田・塩釜・日立・東京・八丈島・大井川・新潟・伏木・岸和田・広島・高松・高知・福岡・長崎・鹿児島) 次世代技術研究所 営業研究所 石炭・環境研究所 オフィス (本社・支店・出光リテール販売 (株)・出光ユニテック (株)・(株) エス・ディー・エス バイオテックほか)	[Scope3] 国内で販売された製品の消費により排出されるCO <sub>2</sub> 量 * 燃料として使用されない潤滑油、石油化学製品は算定対象としていません。 * LPG (プロパン)、LPG (ブタン) の販売量を記載しています。なお、CO <sub>2</sub> 排出量を算出するに当たっては、アストモスエネルギー (株) への出資比率 (51%) を乗じています。					
<b>昭和シェル石油 実績</b> 2018年1月～2019年3月 (15カ月)												
Input	未集計	エネルギー使用量 原油換算	12PJ 315千kL	エネルギー使用量 原油換算	88PJ 2,282千kL 海水 170,600千t 工業用水 40,316千t 上水 194千t	エネルギー使用量 原油換算	2.9PJ 75千kL	エネルギー使用量 原油換算	2.9PJ 75千kL	エネルギー使用量 原油換算	2.3PJ 61千kL	揮発油 9,555千kL ジェット燃料 2,501千kL 灯油 3,248千kL 軽油 6,622千kL A重油 2,255千kL C重油 1,070千kL LPG (プロパン) 80千kL LPG (ブタン) 160千kL 潤滑油 344千kL 基礎化学品 1,448千kL その他 8,980千kL
	未集計	CO <sub>2</sub> -Scope1 CO <sub>2</sub> -Scope2 CO <sub>2</sub> -Scope3 CO <sub>2</sub> 合計 (Scope1～3)	0千t 0千t 873千t 873千t	CO <sub>2</sub> -Scope1 CO <sub>2</sub> -Scope2 CO <sub>2</sub> -Scope3 CO <sub>2</sub> 合計 (Scope1～3)	6,982千t 434千t -千t 7,416千t	CO <sub>2</sub> -Scope1 CO <sub>2</sub> -Scope2 CO <sub>2</sub> -Scope3 CO <sub>2</sub> 合計 (Scope1～3)	32千t 108千t -千t 139千t	CO <sub>2</sub> -Scope1 CO <sub>2</sub> -Scope2 CO <sub>2</sub> -Scope3 CO <sub>2</sub> 合計 (Scope1～3)	1.0千t 4.3千t 193千t 198千t	CO <sub>2</sub> -Scope1 CO <sub>2</sub> -Scope2 CO <sub>2</sub> -Scope3 CO <sub>2</sub> 合計 (Scope1～3)	0千t 9.9千t 102千t 112千t	CO <sub>2</sub> -Scope1 CO <sub>2</sub> -Scope2 CO <sub>2</sub> -Scope3 CO <sub>2</sub> 合計 (Scope1～3)
Output	未集計	SOx NOx ばいじん 排水量 COD 廃棄物発生量 廃棄物最終処分量 エネルギー消費原単位	2,972t 2,769t 95t 196,122千t 255t 51,296t 0t 7.28L/kL	SOx NOx ばいじん 排水量 COD 廃棄物発生量 廃棄物最終処分量 エネルギー消費原単位	2,972t 2,769t 95t 196,122千t 255t 51,296t 0t 7.28L/kL	排水量 廃棄物発生量	3,691千t 23,009t	国内輸送 エネルギー消費原単位	10.1kL/百万t・km			
	該当なし			昭和シェル石油 (株) シェル プリカンツ ジャパン (株) (株) 京浜バイオマスパワー ソーラーフロンティア (株) 日本グリーンズ (株) 昭石化工 (株) (砂町工場を除く) 瀧青化学 (株)	昭和シェル石油 (株) シェル プリカンツ ジャパン (株) (株) 京浜バイオマスパワー ソーラーフロンティア (株) 日本グリーンズ (株) 昭石化工 (株) (砂町工場を除く) 瀧青化学 (株)	昭和シェル石油系 SS (約3,000カ所)	[Scope3] Scope1、2に含まれないSSでのエネルギー使用により排出されるCO <sub>2</sub> 量	[Scope3] 国内で販売された製品の消費により排出されるCO <sub>2</sub> 量 * 燃料として使用されない潤滑油、石油化学製品は算定対象としていません。				